

## 令和2年12月定例会 提出議案

・令和2年12月17日提出

議案番号	件名	区分	結果	備考
議員提出議案 第3号	「少人数学級」の実現を求める意見 書の提出について	意見書	可決	内閣総理大臣、財 務大臣、文部科学 大臣

## 議議案第3号

### 「少人数学級」の実現を求める意見書の提出について

地方自治法第99条の規定により、別紙のとおり内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣に対し、意見書を提出します。

令和2年12月17日 提出

提出者	釜石市議会議員	千葉	榮
賛成者	同	磯崎	翔太
	同	高橋	松一
	同	平野	弘之

(別紙)

### 「少人数学級」の実現を求める意見書

コロナ禍で、子どもも学校も多くの不安を抱えています。今、新型コロナウイルス感染防止対策で、学校教育の現場でも身体的距離の確保が重要です。しかし、40人学級では子どもたちの身体的距離を確保することができず、密集状態となっています。これを避けるためには、少人数学級にする必要があります。

元々学校は、一人ひとりの子どもとじっくり向き合い、悩みに耳を傾け、個別の指導をすることが大切であり、現場からは40人学級ではなく少人数学級実現の要望が強く出されております。日本教育学会は、以前から20人前後の少人数学級が望ましいという見解を示しており、コロナ禍で十分な教育を保障するために教員を10万人増やすことと、教育予算の増額を提案しています。

本年7月3日には、全国知事会、全国市長会及び全国町村会が連名で、政府に「少人数編制を可能とする教員の確保」を要望しています。また、7月17日には、閣議決定された「骨太

方針2020」でも、「少人数によるきめ細やかな指導体制の計画的整備」の検討を提起しています。

来年度予算編成にあたって、少人数学級に踏み出す予算措置を実現することが教育関係者の強い要望になっています。こうした状況を踏まえて、次の措置を講じることを強く求めます。

#### 記

安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる少人数学級を速やかに実現するため、必要な措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和2年12月 日

岩手県釜石市議会

内閣総理大臣 菅 義 偉 様  
財 務 大 臣 麻 生 太 郎 様  
文部科学大臣 萩生田 光 一 様